

新庁舎建設特別委員会行政視察報告書

期 日	平成 30 年 10 月 31 日（水）～11 月 1 日（木）
視察先	徳島県 阿南市
出席者	田上 祥子 委員長、新川 勉 副委員長、 名切 文梨 委員、瀧口 慎太郎 委員、井上 武 委員、 釘丸 久子 委員、渡辺 貞雄 委員、越智 一久 委員、川口 仁 委員、
随行者	土井副主幹
調査項目	新庁舎建設について
調査内容	<p>旧庁舎は昭和 41 年 3 月に建設され、40 年以上経過し、老朽化や狭あい化が進み、特に南海トラフ巨大地震を想定に安全性や防災拠点として果たすべき役割に大きな不安を抱えていたことから、その役割を担う新庁舎の必要性が求められていた。平成 17 年 3 月に庁舎建設基金条例を制定したことから始まり、平成 17 年 12 月に市議会に庁舎建設特別委員会を設置し、その後、平成 18 年 3 月に旧那賀川町と旧羽ノ浦町との 1 市 2 町の合併を経て、平成 18 年 5 月に職員で構成する庁舎建設推進委員会、庁舎建設推進本部会議を設置し、平成 19 年 9 月に市民参加による庁舎建設市民懇話会を設置し、先進事例視察などを行い、平成 20 年 8 月に基本構想を策定した。なお、基本構想は業者委託をせずに策定している。平成 21 年 9 月に基本計画を策定。平成 23 年 3 月に基本設計が完了し、平成 24 年 1 月に国土交通省が所管する平成 23 年度住宅・建築物省 CO2 先導事業のプロジェクトに決定し（庁舎では全国で 2 例目、四国で初採択）、国からの補助を受けた。平成 24 年 7 月に実施設計が完了し、平成 25 年 3 月に第 I 期工事を着工し、平成 29 年 3 月に第 I 期、その後の第 II 期工事が竣工した。</p> <p>平成 29 年 5 月から新庁舎で業務を開始し、同年度に外構工事関係、仮庁舎で使用していた敷地外での駐車場整備を行い、その完成をもって長年にわたる新庁舎建設事業の全てが完了している。</p> <p>総事業費 88 億 5 千万円で、財源としては基金が 50 億 7 千万円、地方債（合併特例債）が 34 億 8 千万円、その他補助金等である。</p>
主な質疑	<p>Q 事務室を拝見してオープンな印象を持った。生活保護等への配慮は。</p> <p>A 市長の明るい庁舎をつくりたいという思いがあった。電気が使えなくなった場合でも光が入るようにつくっている。新庁舎での業務開始当初は窓口に仕切りがなく、来庁者から苦情があり、顔が見えづらい仕切りをつくるなど改善を図った。</p> <p>Q 窓口に課名のほか、事務分掌も書かれており、わかりやすかった。これは、新庁舎になったときにつくったのか。</p> <p>A 新庁舎になったときに、英語表記などと一緒に事務分掌もサインに盛り込んでいる。</p>